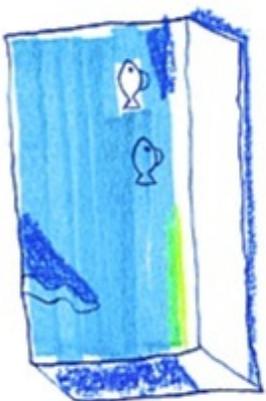
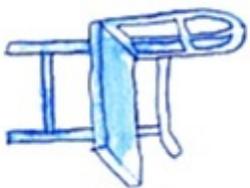


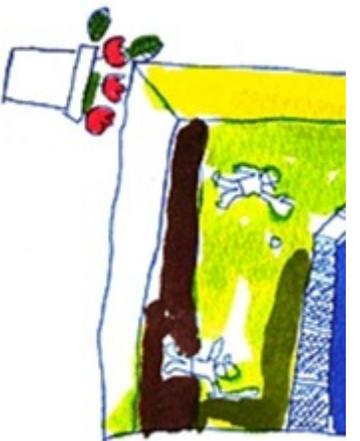
#115&h0

とんじ



キリちゃん
帰るよー
してとき



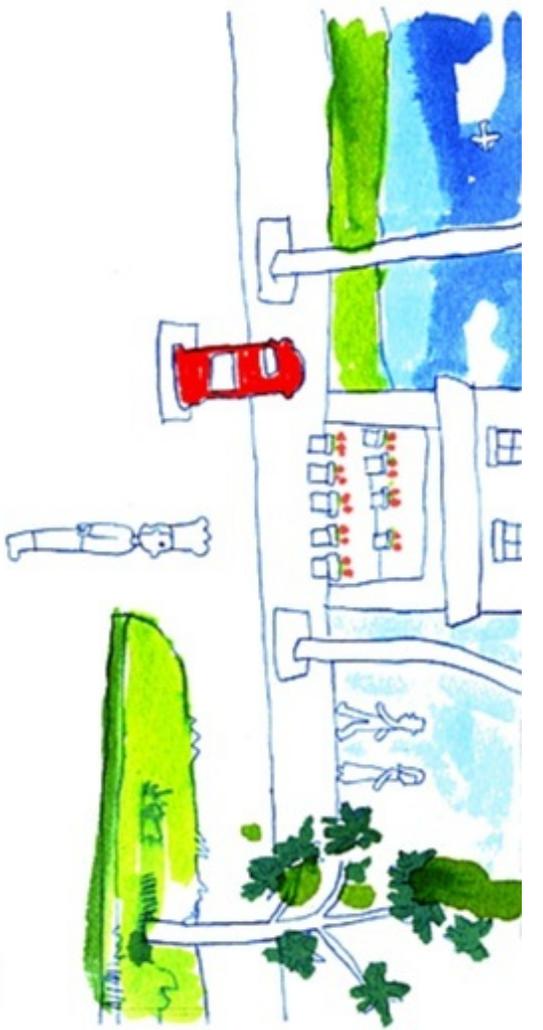


ちやうちぱらした
けんちゃんか
やゝき
「そり当番かゝた」
といふまじ。
そりちゃんは

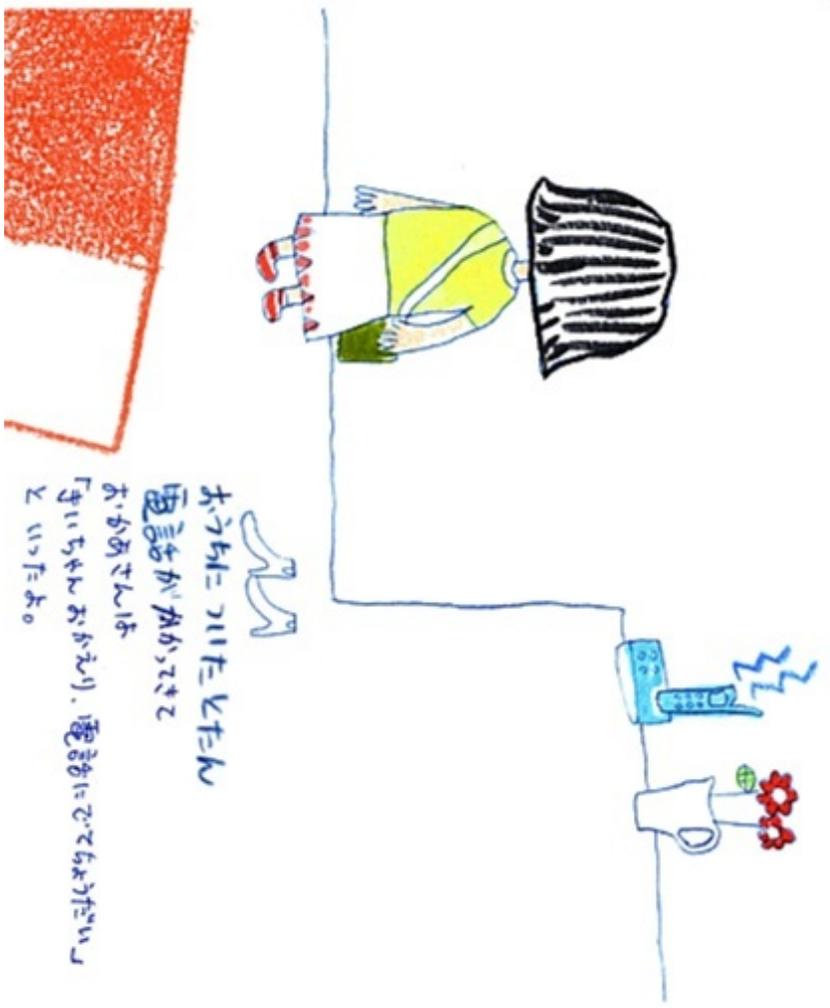


「おたゝ用事があゝるの」
と、き、ば、り、い、い、ま、し、た。





帰り道 まーくんとおれちがいました。
 まーくんは たまがしび 自転車に乗
 のれることを じまんしたりしないんだよ。



おれちが 聞いたとたん
 電話がかかってくる
 おかあさんは
 「すいちゃん おかえり、電話にでておくれたい」と
 いったよ。



電話はホテラさんからで
「よしよし」といって
「まいちゃんまよのんはあつはあはなにかな？」
「ナラエ」





「お世に匠様かおのさー」
のたはにハカシテ。



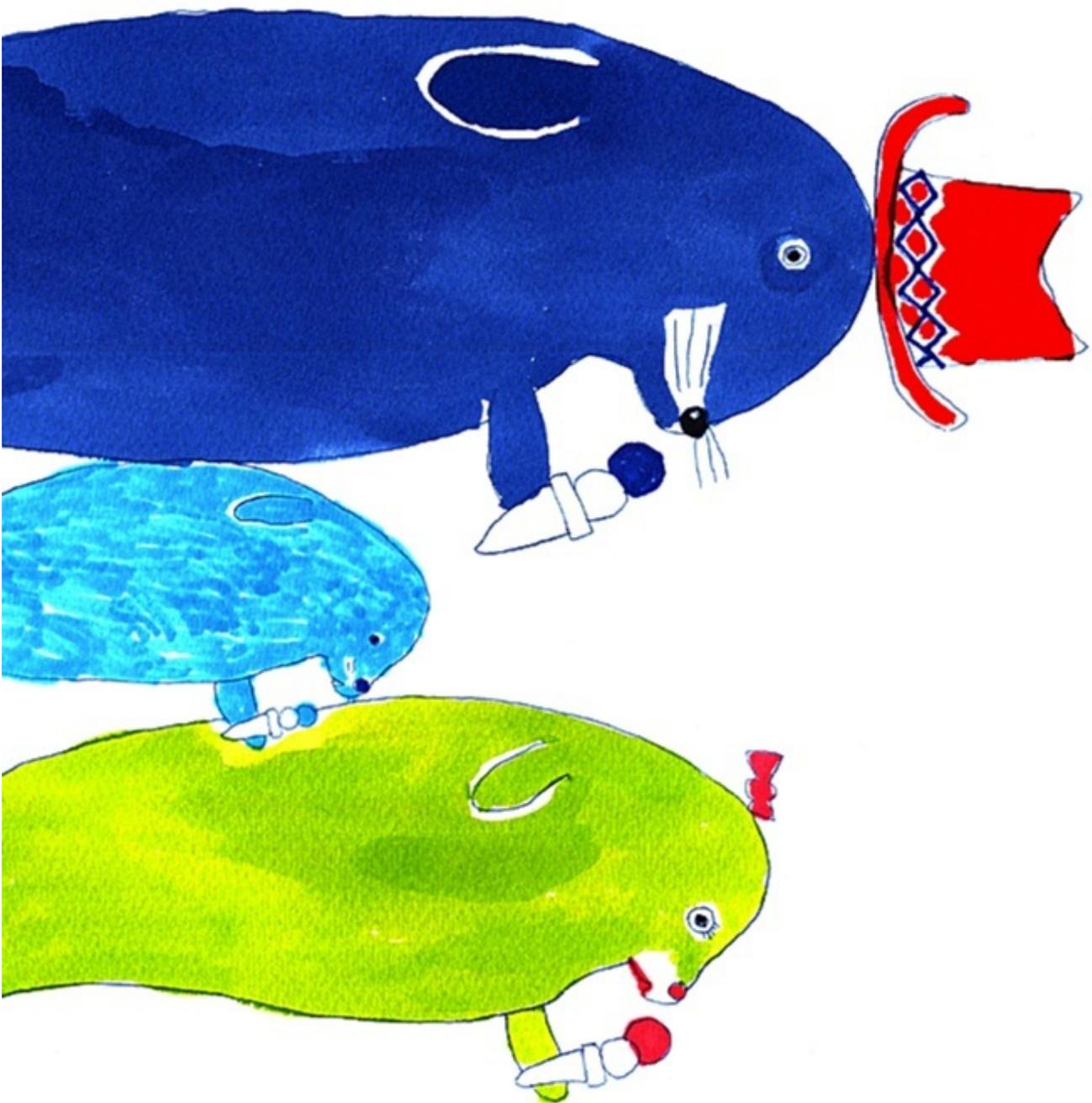
キイチさんがそのおたにまで
きたとき
ビッコほ"うが"道にまよ
りました。
「大通りはどっちですか？」
キイチさんはハ"シ"と
いきました。





「おはよう」
「おはよう」

大通りで 親子の お散歩が
アスレームを 食ハていました。
「きいちゃんも いかか？」
きいちゃんは あ、サリいきました。





「お=ナ」田事「お=ハ」お!



大通りをあふらしていろと
楽しい音楽がきこえてきました。
「そうだ、110ロードがはじまったんだ」
ときいちばんは思いました。



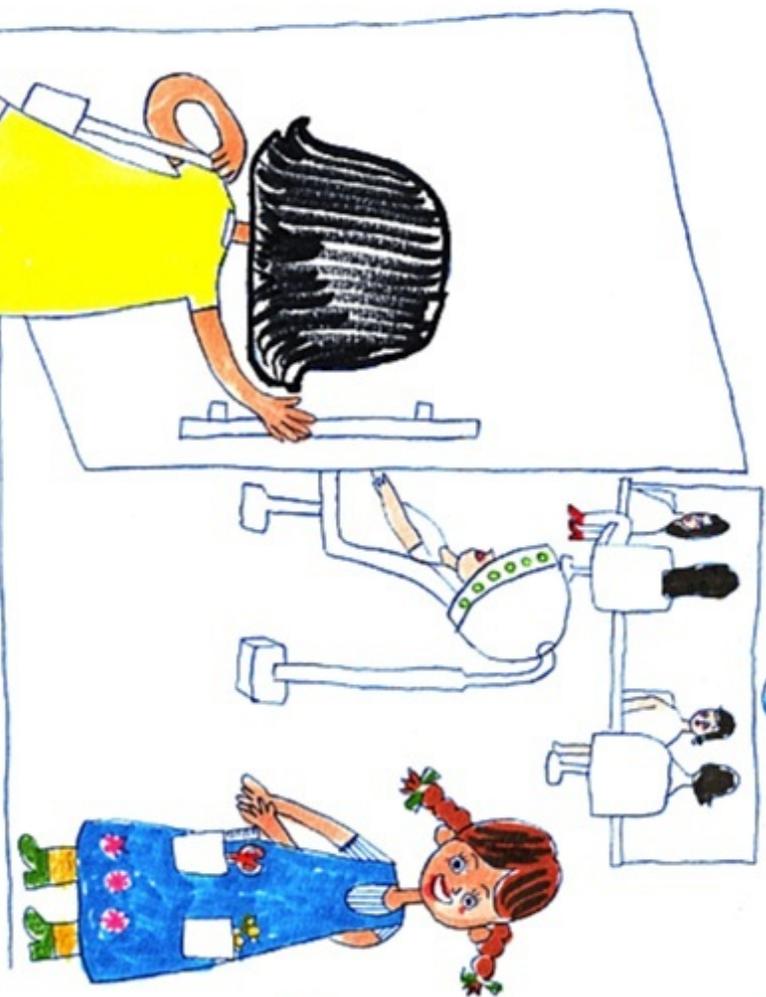
「おめでとう、おめでとう！
と近所の子どもたちが、はしゃぎ
まわっています。」





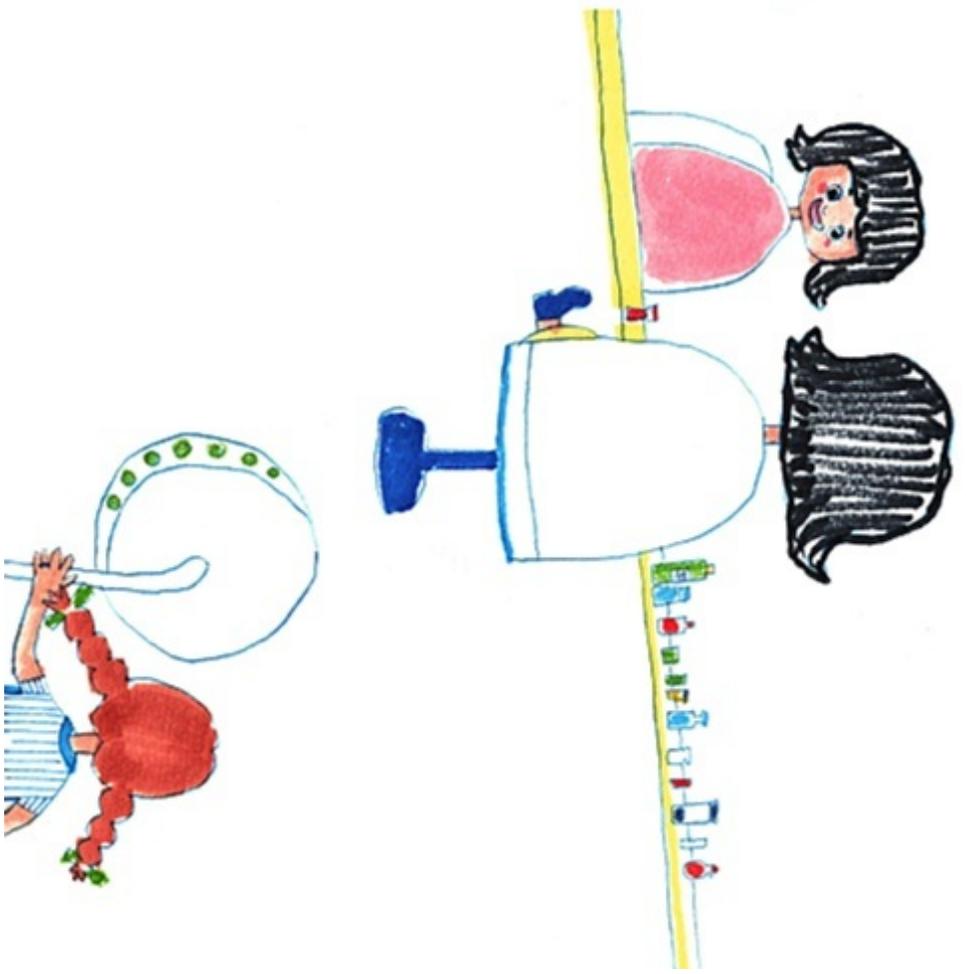
トロンボーン
1170-1170
———
1111
(おたし 用器が あるんぞ可。)

✿ SALON DE ✿



かと美容院にうきました。
 「カットとカラーしてださい」
 「きいちゃんいらいやい！」

小糸道でまきさんとすけちがたういふなと思はまけた。



きいちゃんのように#

<http://p.booklog.jp/book/51787>

著者：コヘジ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/koheji/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/51787>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/51787>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ